

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課												
	作成責任者	芦田 直也												
	事業名	販路開拓支援事業												
	会計情報	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	会計	一般会計	事業コード	310108	決算付属資料	178	頁
	施策体系	施策コード	060202	施策名	既存産業を活性化する									
	開始年度	平成24年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	福知山市販路開拓支援事業補助金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市内の小規模企業者が、自社商品及びサービスの販路開拓のため、市外での展示会等イベントに出展するには、会場費や旅費等の経費がかかり、意欲があっても出展しにくい状況があるため、展示会等のイベント参加に係る経費の一部を補助し、市内小規模企業者の販路開拓を支援し、産業の振興を図る。									
	対象者	市内事業所	対象者数	4,135	単位あたりコスト	0.7					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	市内の小規模企業者が自社の技術や製品・サービス等の販路開拓のために市外で開催される展示会、見本市等への出展や商談会に係る経費の1/2(物販を伴う場合は1/4)を助成する。 <出展>補助上限:<関西圏内>10万円 <関西圏外で日本国内>15万 <海外>20万円									
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
	負担金補助及び交付金	福知山市販路開拓支援事業補助金							487		
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	1,700	1,700	1,700	1,050	1,050			
	②補正予算	0	0						
	③流充用額	0	0						
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越						0			
						0			
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	850	0	1,398	0	1,050			
	国支出金	850	0	0	525				
	府支出金	0	850	243	0				
	地方債	0	0		0				
	その他特財	0	850	59	525				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	みらい戦略一括交付金	種類	府補助金	実績金額	243	決算付属資料	26	頁
	特財名称	販路開拓支援事業基金	種類	基金繰入金	実績金額	59	決算付属資料	36	頁
人件費	0.15/0	0.2 / 0	0.13 / 0	0.13 / 0					
⑤概算人件費	1,200	1,600	1,040	1,040					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,900	3,300	2,740	2,090					
⑦執行額	1,697	1,577	487						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	99.8%	92.8%	28.6%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		本制度を利用し、新規成約に結びついた件数	件	67/30	24/67	9/67	/ 67	67
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		補助金利用者数	件	23/23	18/23	9/23	/ 23	23
		単位あたりコスト		73.8	87.6	54.1		
単位あたりコスト		/	/	/	/			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	販路拡大を積極的に行なう事業者を支援するのに必要である。市外の展示会へ出展することは、自社商品を広く広報するための有益な方法であるため、小規模事業者の負担軽減のためにも出展料をはじめ、旅費、交通費等の補助を行う必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	展示会によって補助率を調整。物販のない展示会は補助率1/2。物販を伴う展示会の場合は販売による収益が見込めるため補助率は1/4とし、効率的な交付処理を実施している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	平成30年度の要綱改正により、補助対象事業者が中小企業者→小規模企業者へ、また1事業者あたりの通算利用回数に制限を設けたため、申請事業所が減少した。展示会終了後一定期間経過後に補助金利用者に調査を行い、展示会終了後の継続的なやり取りにより成約した商談件数等を集計している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成30年度より、中小企業者から小規模企業者へ対象者が変更したことに加え、通算申請回数を5回に制限したことにより、申請できなくなった事業者が増加し、申請者が減少。成果目標と大きく乖離が生じた。制度改正に合わせた成果指標の見直しの検討が必要である。成果指標である新規成約件数を増加させるためには、市内小規模事業者に本制度を利用いただき、市外展示会へ積極的に参加いただく必要がある。そのためにも、引き続き市内小規模事業者へ展示会出展への声掛け、補助金制度の紹介が必要。		
今後の課題及び方向性	制度利用者への追跡調査により成果を明確にするとともに、販路開拓に繋がった要因を分析し、引き続き需要に合致した制度となるよう検討する。また、1事業者あたりの通算利用回数に制限が設けられたため、今後は産業支援センター等と連携し、まだ利用されたことのない小規模事業者への制度周知を行う必要がある。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課						
	作成責任者	芦田 直也						
	事業名	福知山産業フェア事業						
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 商工業振興費	会計 一般会計	事業コード 310110	決算付属資料 178	頁
	施策体系	施策コード 060202	施策名 既存産業を活性化する					
	開始年度	平成19年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等	福知山産業フェア事業補助金交付要領						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	商業・工業・農業等に関わる関係団体が一体となり、三段池公園体育館及び周辺で本格的な物産展を開催し、情報交換、交流などを通じて取引機会の拡大、異種業者との情報交換、交流産業育成と活性化を推進する。				
	対象者	市内事業所	対象者数	4,135	単位あたりコスト	1.1
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	委託先・実施主体等	福知山産業フェア実行委員会				
	事業概要	「福知山産業フェア」は、企業・団体による製品の展示・技術PR・即売や農協・観光協会による地場産品・観光土産品販売、料理飲食業組合等による飲食グルメコーナー、各種イベント等が行われる。この大規模物産展の開催に対して補助金を支出するもの。				
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
	負担金補助及び交付金	福知山産業フェア事業補助金			3,800	
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
配当予算	①当初	0	3,800	3,800	3,800	3,800				
	②補正予算	0	△ 3,231	0						
	③流充用額			0						
	④繰越額計	0	0	0	0	0				
前年度繰越										
次年度繰越										
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑤内訳)	一般財源	0	0	0	0	0				
	国支出金	0	0	1,900	1,900	0				
	府支出金	0	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0	0				
	その他特財	0	569	1,900	1,900	3,800				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金		種類	国庫補助金	実績金額	1,900	決算付属資料	18	頁
	特財名称	福知山産業フェア事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	1,900	決算付属資料	36	頁
人件費	0/0	0.05 / 0	0.11 / 0	0.11 / 0						
⑤概算人件費	0	400	880	880						
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	969	4,680	4,680						
⑦執行額	0	568	3,800							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	-	99.8%	100.0%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		来場者数	人	-	-	69,000/70,000	/	70000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	取引機会拡大に繋がった出展者	者	-	-	41/150	/	50	150
	出店企業数	者	-	-	108/150	/	150	150
	単位あたりコスト		-	-	35.2			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

項 目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本事業のような規模の物産展は市内での開催はあまりなく、本市の産業振興にとって必要性は高い
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	本事業は、実行委員会形式であるが、その主管となっている福知山商工会議所は、本事業の開催実績もあり、多くの商工業関係団体との連携も強く、より多くの事業所出展が期待できるため、効率的である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	出展者のアンケート調査において、取引拡大に繋がっただけでなく、自社商品(サービス)の感想が聞けたことや企業PRに繋がったなどの意見が多数あった。本事業は企業活動に有効的である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		取引機会の拡大に繋がった出展者は出展者の半分以下であり、出展者がより取引機会の拡大に繋がるための工夫が必要。ただ、アンケート結果等から出展者の企業活動において一定の効果があったと考える。	
今後の課題及び方向性		成果目標達成のためにも、より来場いただけるようにイベント広報等の工夫が必要。本市でのイベントの中でも集客のあるイベントであることから、出展者にとって魅力のあるイベントであるが、今後、企業同士の交流の促進がされるよう内容を検討する。	

所 見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所 見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内 容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課						
	作成責任者	芦田 直也						
	事業名	災害復旧融資特別支援事業						
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 商工業振興費	会計 一般会計	事業コード 310119	決算付属資料 178	頁
	施策体系	施策コード 060202	施策名 既存産業を活性化する					
	開始年度	平成25年度						
	終了予定年度	令和4年度						
	関連計画等							
	根拠法令等	・福知山市災害復旧融資特別支援事業要領(H25年台風18号)・福知山市災害復旧融資特別支援事業要領(H26.8月豪雨)・福知山市平成29年度災害復旧融資特別支援事業要領・福知山市平成30年7月豪雨災害復旧融資特別支援事業要領						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成26年8月豪雨災害、平成29年台風21号、平成30年7月豪雨災害による災害復旧のための融資を受けた市内の中小企業者に対し、事業再建のために資金繰りの円滑化及び経営の安定化を図る。					
	対象者	市内事業所	対象者数	4,135	単位あたりコスト	2.3	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	<平成26年8月豪雨>京都府の融資制度「平成26年8月豪雨災害緊急融資」や日本政策金融公庫の融資制度「災害復旧貸付」、また市内各金融機関の災害復旧のために創設された融資を利用する中小企業者に対し、融資実行後から12回目までの支払利子相当額の補給、13回目から60回目までの支払利子相当額の2分の1の額を補給する。また、京都信用保証協会の保証を受けられた場合には、信用保証料の2分の1相当額を補給する。<平成29年台風21号><平成30年7月豪雨>京都府の実施する災害対策緊急資金、他災害復旧に要する融資を利用する中小企業者に対し、融資実行から12回目までの支払利子相当額の補給、13回目から60回目までの支払利子相当額の2分の1の額を補給する。(平成30年7月豪雨災害の補助金交付は平成31年度~)					
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費	
	負担金補助及び補助金	平成25年台風18号(平成30年度で終了)				1,589	
	負担金補助及び補助金	平成26年8月豪雨災害				5,767	
	負担金補助及び補助金	平成29年台風21号				96	
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	10,317	7,570	7,812	13,030	1,322
		②補正予算			0		
		③流充用額	0	22	0		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越	前年度繰越		0	0	0	0
		次年度繰越		0	0	0	0
		繰越額		0	0	0	0
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	10,317	7,592	7,812	13,030	1,322
		国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0	0
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
人件費	0.25/0	0.3 / 0	0.22 / 0	0.22 / 0			
⑤概算人件費	2,000	2,400	1,760	1,760			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	12,317	9,992	9,572	14,790			
⑦執行額	9,755	7,591	7,452				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	94.6%	100.0%	95.4%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		交付件数	件	163 / 184	155 / 167	152 / 140	/ 162	0
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		利子補給金額	千円	9,755 / 10,317	7,591 / 7,570	7,452 / 7,812	/ 13,030	0
		単位あたりコスト		-	-	-		
			/	/	/	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	平成26年8月豪雨災害、平成29年台風21号、平成30年7月豪雨災害により被災した中小企業者について、経営再建に向けて長期的に支援する必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	毎年同時期に申請書を送付しているため、事業所にも申請事務があることを理解してもらっており、スムーズに行っている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	長期的な利子補給を実施することで資金繰りの安定化を図っている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		繰上げ返済(完済)により利子補給額、件数は着実に減少しており、豪雨災害後の経営の安定化が見込まれている。	
今後の課題及び方向性		既に申込されている平成26年豪雨災害、平成29年台風21号、平成30年豪雨災害に係る融資に対しての利子補給金については、要領に基づき交付を行う。また、今後の災害対応においては、被災状況に応じて対応を検討する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	<p>○すでに打ち切りとなっているが、保証料の1/2補給金については、公平性に欠けるものであるから、今後行われることのないよう引継等、徹底していくこと</p> <p>○国・府等の制度融資については、借り手の視点(負担軽減)のみならず、どのような形で制度が成り立っているか等、課内の理解促進を図ること</p> <p>○シートに不備多いため、見直し要</p> <p>○補給金があることで、どのようなアドバンテージがあるのか、常に意識をすることが必要</p>
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	所見

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課												
	作成責任者	芦田 直也												
	事業名	中小企業者災害復旧緊急支援事業												
	会計情報	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	会計	一般会計	事業コード	310131	決算付属資料	178	頁
	施策体系	施策コード	060202	施策名	既存産業を活性化する									
	開始年度	平成30年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	平成30年7月豪雨災害復旧緊急支援事業補助金要領												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成30年7月豪雨災害により被災された市内事業所を支援するため、設備の更新、改修に必要な経費の一部を補助し、早期の事業再建を促進するとともに、経営の安定化を図る。									
	対象者	市内事業所	対象者数	4,135	単位あたりコスト	4.4					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	災害復旧のために必要となる建物及び付属設備、建築物、機械装置、車輛運搬具、備品等の更新、改修に要する経費に対して補助金を交付。 補助率/補助上限:<単災>15%/100万円 <連災>20%/150万円(下限はいずれも10万円) 1事業所につき1回まで									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費			
	負担金補助及び交付金	平成30年7月豪雨災害復旧緊急支援事業補助金					6,891				
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初			0	0	0
		②補正予算			15,830		
		③流充用額			0		
		④繰越額計			0	0	0
	財源内訳 (①④⑥内訳)	前年度繰越			0	0	0
		次年度繰越			0	0	0
		一般財源			15,830	0	0
	国支出金			0	0	0	
	府支出金			0	0	0	
	地方債			0	0	0	
	その他特財			0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)			0.27 / 0		
⑤概算人件費				2,160			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)				17,990			
⑦執行額				6,891			
執行率 (⑦/⑥)×100				43.5%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業再建に繋がった件数	件			20/20	/	20
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		補助金交付件数	件			16/20	/	20
		単位あたりコスト				430.7		
		単位あたりコスト					/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	災害からの再建には資金を要するため、被災事業所からの必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	今年度だけの被災事業者と平成29年台風21号と平成30年7月豪雨災害で連年被災された事業者で補助率を分け、連年被災事業者への補助率を上乘せ支援することで、受益者との負担関係ははかれている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	事業所毎に実績報告を求めているため、実績は適切に把握、測定できている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		災害による市内事業所の減少を防ぐため、本事業を実施した。予算を大幅に減少補正している点については、当初の見込みより、申請件数が少なかったことによる。これは、被災事業所が自らの損害保険等により、復旧を行ったこと、大きな更新を行わず、事業を継続させていること等による。	
今後の課題及び方向性		今後の災害発生に応じ、実施を検討するが、実施方法については、補助金という形にこだわらず、利子補給等被災事業者の被災状況等聞き取り等を行い、必要な支援策を検討するものとする。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	<p>○必要性が「ニーズが高い」としながら、大幅な減額補正となっていることは理解に苦しむので、評価を見直すこと</p> <p>○以上の点も踏まえつつ、実際には見込よりも申請件数が大幅に少なかったことから、他事業(利子補給)と合わせ総合的に見直しを図るべきー被災中小事業者の支援ニーズに沿うものに</p> <p>○被災事業所にとって、どうい支援が必要か検討を</p> <p>○事業を実施する以上は、ニーズを捉えた制度設計が必要。ただし、あくまで災害復旧に伴う臨時的な支出でなくてはならない</p>
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	所見

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】



# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課						
	作成責任者	芦田 直也						
	事業名	福知山市産業支援事業						
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 商工業振興費	会計 一般会計	事業コード 310164	決算付属資料 178	頁
	施策体系	施策コード 060202	施策名 既存産業を活性化する					
	開始年度	平成29年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略						
	根拠法令等							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	あらゆる産業分野において、経営上の課題を抱える中小企業・小規模事業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うために、福知山産業支援センターを運営し、地域経済の活性化を図る。					
	対象者	市内事業所	対象者数	4,135	単位あたりコスト	10.6	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等	一般社団法人福知山産業支援機構(福知山産業支援センター)					
	事業概要	福知山市産業支援センターは、センター長による相談業務により、相談者自身が気付いていない「強み」を見つけ出し、その強みを活かせるアイデアを提案し、支援する。福知山産業支援センターの運営については、本市及び関係機関で構成する一般社団法人福知山産業支援機構に委託する。中小企業支援に関して構成団体等の意見を反映するとともに、構成団体等による適正な監査を実施して透明性を確保し、成果等をホームページ等により公表する。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		委託料	産業支援センター運営委託			23,227	
旅費		全国Bizサミット旅費他			387		
役務費		電話代			87		
使用料及び賃借料		産業支援センター電話交換機賃借料			116		
需用費	印刷製本費他			78			
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	0	30,744	30,794	31,465	30,361			
	②補正予算	0	△ 1,574	0					
	③流充用額	0		0					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越		0	0	0	0	0			
	次年度繰越		0	0	0	0			
予算と執行の状況 (①④⑥内訳)	一般財源	0	0	325	0	0			
	国支出金	0	12,692	11,643	15,441	0			
	府支出金	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0			
	その他特財	0	16,478	11,927	16,024	30,361			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	国庫補助金	実績金額	11,643	決算付属資料	18	頁
	特財名称	福知山市産業支援事業基金	種類	基金繰入金	実績金額	11,927	決算付属資料	36	頁
人件費	0 / 0	3.83 / 0	1.03 / 2	1.03 / 2					
⑤概算人件費	0	30,640	13,240	13,240					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	59,810	44,034	44,705					
⑦執行額	0	22,991	23,895						
執行率 (⑦/⑥)×100	—	78.8%	77.6%	0.0%					

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
			成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	販路拡大や売上up等につながった件数/年	件	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	相談件数/月	件	/	91/30	79/30	/ 60	80
	単位あたりコスト			252.6	302.5		
	アンケートでの満足度	%	/	/	77/70	/ 70	70
	単位あたりコスト			310.3			

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○ 誰でも何度でも無料で相談でき、お金をかけずにビジネスの流れを変える知恵出しが出来るため、市内の産業振興にとっては必要性が高い。	
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	本事業の委託先である「一般社団法人福知山産業支援機構」は、本事業を行うために市内商工団体により組織された法人であり、各関係機関との連携も密にとれるため、効率的に事業が行える。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	全国で実績を出している富士市産業支援センターをモデルにしているため、先事例同様の成果が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	相談件数について、当初の目標としていた30件/月を大きく上回る件数になっている。相談者の約8割がリピーターとして複数回利用している。また、利用者アンケートでも、利用者の8割程度が相談対応に満足しているという結果が出ていることから、相談者からの評価も高いと判断できる。		
今後の課題及び方向性	今後はセンターの認知度をあげることで、新規相談者を増やし、成功事例を増やしていくことが必要である。そのためにも、ホームページやSNS等で積極的に情報を発信していくことが重要である。また、パワーオンネットなど産学官連携組織との連携についても検討していく。			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	産業支援センター、東京都ジョブパーク、市内企業(長田野工業団地企業、アネックス京都三和企業を含む)との連携強化のため働きかける。 【H30棚卸しによる見直し状況】 H30年度棚卸しを踏まえ、商工会議所、商工会等の各種団体と連携をしていく。令和元年度は商工会の新商品開発塾と連携し、バイヤー商談会を実施(令和2年1月予定)。また、近隣市町との連携について、市内で実施するピズ実施の講演会に丹波市、朝来市職員等を招待し、情報の共有を図った。次年度以降も各種団体、近隣市町と連携し、新規相談者の獲得、相談者同士のマッチング等ピズの機能強化に努める。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課						
	作成責任者	芦田 直也						
	事業名	企業交流促進事業						
	会計情報	款 商工費	項 商工費	目 商工業振興費	会計 一般会計	事業コード 320104	決算付属資料 180	頁
	施策体系	施策コード 060202	施策名 既存産業を活性化する					
	開始年度	平成9年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等	福知山市企業交流促進事業補助金交付要領						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	長田野工業団地立地企業と工業団地以外の企業の結びつき及び交流の促進、企業間の交流、情報交換、受発注の醸成等を目的として実施される福知山企業交流会の活動を支援し、市内企業同士の受発注の活性化等を図ることにより企業活動の活性化、地域の発展につなげる。					
	対象者	会員企業	対象者数	110	単位あたりコスト	14.2	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等	福知山企業交流会					
	事業概要	福知山企業交流会の活動に補助金を交付し、研修会や受発注懇談会等を通して企業間交流を図る。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費			
	負担金補助及び交付金	企業交流促進事業補助金	600				
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	674	674	600	540	540
	②補正予算	0	0	0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
予算と執行の状況 財源内訳(①④内訳)	一般財源	674	674	600	270	540
	国支出金	0	0	0	270	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.06/0	0.13 / 0	0.12 / 0	0.12 / 0		
⑤概算人件費	480	1,040	960	960		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	1,154	1,714	1,560	1,500		
⑦執行額	674	674	600			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		受発注(市内発注/長田野総発注)	%	22/20	21/25	24/25	/ 25	25
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		受発注懇談会、視察等の参加者数	人	121/120	145/140	74/145	/ 145	145
		単位あたりコスト		5.6	4.6	8.1		
	受発注懇談会、視察等の開催	回	4/4	3/4	2/4	/ 4	4	
	単位あたりコスト		168.5	224.7	300.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	企業交流会会員企業に対してのニーズに合っているかや補助金のあり方についても検討していく必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	企業交流会の活動内容がここ数年見直されておらず、また他地域での企業交流事業等を情報収集し改めて企業交流会に反映していく必要がある。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	受発注率を成果目標としているが、その率の上昇につながる有効的な事業を検討し、実施していくことが必要である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		企業間交流を目的として懇談会や研修会等を計画に基づき実施し、市内企業の長田野工業団地企業から市内企業への受発注率は20%を維持している。	
今後の課題及び方向性		会員企業のニーズや補助金のあり方について検討を行い、企業交流会がどの程度受発注率の増加に寄与しているのか効果も含めて検討する必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和元年度は、長田野立地企業と市内既存企業の商談・マッチング機会である受発注懇談会におけるレイアウト等の内容を一部見直し、互いの製品を手にとりながら商談や情報交換ができる場を設けた。来年度以降も更なる受発注率の向上をめざし、総会や講演会、現地視察等の内容について商工会議所とともに見直しの協議を進める。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充